

第八回 (株) 有線ブロードネットワークス番組審議会 議事録

開催日時：平成15年3月5日11:00～

開催場所：(株) 有線ブロードネットワークス 山王パークタワー13F
プレゼンテーションルーム

出席者 委員：小林亜星、有馬祐行、池田憲一、山本武司、渡辺英夫、青木寶久（順不同・敬称略）

放送局側：9名

議事内容

1. 会社動向及び報告事項

2. 番組改編に関する報告

- 1昨年前にリリースしたパッケージ商品「COOL MIX」に引き続き、昨年、新たにリリースしたパッケージ商品「昭和 MIX」「WORLD・RADIO・MIX」についての報告
- 今春に予定している番組改編に関する報告

3. 番組課題

J-21ch「耳で読む文芸・ミステリー」について

4. 番組審議

- 当該番組の番組編成について、1時間フルタイムに朗読を続けるのではなく、テレビCMのような休憩時間を設けても良いのではないだろうか。例えばある章の朗読が終わった段階で何らかの楽曲を挿入するなど、適当なアイドリングタイムを求める。尚、挿入する楽曲や現在番組内で使用されている音源の工夫が必要。
- 放送される作品と地域の関連性を番組内に取り入れてみても良い。番組内容やその作品に登場する地域、作家と地域的话题を関連付けることで、地域の活性化に貢献できると思う。
- 放送時間についてだが、「1時間」という時間についてはあまり苦になる時間ではないと思う。また、「1時間が長い」と感じる場合でも、1日15分ずつ聴くなど、リスナーが自由に選択して聴ける番組編成は非常に良い。
- 番組のナレーションについて、高齢者には少し読むテンポが早いような気がするので、もうすこし読むテンポを遅くしてほしい。
- 番組のナレーションについて、朗読サークルなどの活動をしている方や、恒常的にナレーションの勉強をしている方などを起用してみても良いと思う。
- 「新刊」を放送することは、「新刊」買ったにもかかわらず読む機会を失ってしまった方や、目の疲れや辛い高齢者へのサポート的な意味合いをもつ。
- 番組内容について、長編（随筆等）、短編（雑誌の1部分、トピックス的なもの）を織り交ぜて構成してみても良いのではないだろうか。
- 番組内容について、現在放送されている番組とは対極的に、古典的な作品（枕草子、源氏物語等）を放送してみてもはどうか。日本語の美しさや教養など、「書籍」という同じ分野のものを別の観点からリスナーに伝えていく手法も考えられる。
- FAXサービスやWEBによるサービスで、番組内容・タイムテーブル・作品・作家の紹介をしているが、放送の中でも番組のガイド的な案内がされて良いと思う。